



2年生諸君！ 明けましておめでとうございます。



いよいよ2012年の幕開けです。昨年は多くの人々が苦しみ、同時に多くの人が日本人として立ち上がった年でもありました。私も皆さんの素晴らしい行動に感動したことをここに書かせていただきました。人は皆、優しさも力強さも高い能力も持っているのだと痛感しました。君達のそんな能力をもっともっと引き出したい、そして希望する進路に勇気を持って立ち向かわせたい、元旦にそう決意したところです。進路研究会で話したとおり、3年0学期が始まりました。いかにスタートダッシュできるか、さまざまな場面でさまざまなことに依存する気持ちを捨て、自分の足で前進しましょう。アドバイスをもらうことと、人に頼ることは全く違うことです。その違いをしっかりと認識して下さい。

さて、依存と言えば、最近ちょっと不安になったことがあります。私自身が「漢字が書けなくなった」のです。これは、仕事でもプライベートでも、パソコンや携帯で文章を書くことが激増し、自筆で書く機会が激減したせいであることがはっきりしています。(多少は歳のせいもあるかも) 漢字には自信がありました。小さい頃から読書が好きで、わからない漢字はすぐに辞書を引いて調べていたし、小学生や中学生の頃には学校で漢字ドリルを徹底的にやらされ友達と競わされたおかげで、書くことも読むことも得意でした。それが今では書けない。読む方は問題ないのですが書けない。困ったものです。公の目にさらされない文書はできるだけ手書きで書くようにしておりますが、「書けない」レベルはどんどん悪化しています。かといって、脱パソコン、脱携帯では仕事も成り立ちません。

そのとき、ふと思いました。君達はどうかと。そういえば、数学の解答用紙も誤字が目立ちます。学級日誌や部活日誌も同様。高校レベルの漢字を学んでいる君達でさえ、中学以下レベルの漢字に誤字が多発しています。明らかに私と同じ理由でしょう。学んで身につけた漢字を手で書く作業が我々の頃より減っているのではないのでしょうか。そこから私の想像はどんどんエスカレートしていきました。携帯(今はもうスマホですか、私はまだ持っていないのでよくわかりません)の影響は漢字だけなのかなど。一気に書き並べてみますね。

- ・漢字は機械が勝手に変換してくれる。選ぶだけ。→漢字が書けない
- ・メモ機能や写真機能で覚える必要がない。→記憶力の低下
- ・電卓機能で暗算をする必要がなくなった。→計算力や数的センスの低下
- ・絵文字がついてないと感情が伝えられない。→文章力の低下、読解力の低下
- ・近くにいてもすぐメール。→友達と顔を合わせて話せない コミュニケーション能力の低下
- ・検索機能ですぐに何でも調べられる。→発見や理解の喜びが少ない 推理力の低下 すぐに解答を知りたがる自分で考えてみるのが億劫

どうです。ちょっとドキッとしませんか。もっとたくさんありそうですね。

携帯が世に蔓延る前は、友達や部活の先輩などの電話番号は簡単に記憶していました。好きな人の電話番号なんか、口でとなえただけでもドキドキしたものです。今、どれだけの人が友達の携帯番号を言えるでしょう。皆無でしょうね。覚える必要もなく、そもそもそういった質問すら無意味な時代です。

私がかつても不安に思うのはメール。メールは確かに便利です。相手が今何をしていても、また時間がどんなに夜遅くとも気にせずに送っていると思います(授業中は厳禁ですよ)。まずそれが問題。相手が都合の良いときに返信してくれれば何ら問題ないはずなのに、しばらく返信が来ないと気分が悪い。返信の返信の返信の……どこで切ったらいいのか延々とメールが続く。君達がどれだけの時間をメールに割いているのか不安です。メールに振り回されていませんか。せっかく勉強に集中したところで友人からのメール。昔はテレビを見ながらラジオを聴きながらの勉強を「ながら族」と言いましたが、今は携帯片手にメールをしながらかの勉強の人も多そうですね。メールをシャットアウトする時間を作ったら、かなり勉強時間が確保できるのではないのでしょうか。さらに、メールは機械が表示する文字だけを目にして文章を作成していますから、過激にも舌足らずにもなりかねない。相手の本当の反応が見えません。昔、夜中に書いた手紙は昼間太陽の下でもう一度読み返してから投函しろと誰かが言ってました。確かにその通りなんです。何でこんなこと書いたんだろうと、恥ずかしくなってしまうこともしばしば。君達は夜中にハイ状態で打ったメールを冷静に読み返して送信していますか。さらにさらに、そういったメールのやりとりがエスカレートすると、もう常に誰かとメールをしていないと寂しくて仕方がなくなる。ここまできたら重症です。



このように見ていくと、携帯の進歩は人間の退化につながりかねません。便利な携帯を使うことによって時間を節約し、その分を思考や行動に回して生活の質を高めることができるのに、君達の能力が低下したのでは本末転倒です。携帯が始めた頃は、通信料もバカにできず、使い過ぎで親がストップをかけることができました。今は定額やら使い放題やらでそれもできない。携帯によって生活を向上させるか自分の能力を低下させるかは、利用者である君達自身の自制心にかかっているのです。仕事上どうしても、という程度に抑えている私ですら、悪影響が出ているのですから、携帯に依存気味の君達には、少し大胆な自己制約が必要だと思われます。このままいくと、最終的には人の心が読めない、自分で考えることができない、そういった大人になりかねません。ぜひ一度、自分の利用状況を振り返ってみてください。ちなみに現3年生の学年トップを何度もとっている生徒は携帯を持っていません。

読み終わったら、保護者の方にもお見せしましょう。